

# 井上 基氏と忽那憲治氏 の講演に対するコメント

筒井義郎(甲南大学)

シンポジウム「家計の金融活動と地域  
の中小企業金融のあり方」

2014年10月30日

大阪大学中之島センター

# 池田泉州銀行の取り組み

- アントレプレナーを応援するために、助成金
- 事業多角化・第2創業を応援するために助成金
- すぐれた試み
- 全体として、成功している
- とくにすぐれた例も

# コメント

- 助成金事業で期待している銀行にとってのメリットは何か
- そのメリットは実現しているのか
- ベンチャー企業はリスクが大きくて、融資が向かないと言われるが、正しいか
- ベンチャーキャピタルとして、ベンチャー企業に出資するという事業は行っているのか

# 忽那報告に対して

- アントレプレナーシップが最下位というショッキングな報告
- 中小企業の収益性がアメリカの1/10しかないというのもショッキング

- アントレプレナーシップがないから利益が上がらないのか?
- 利益が上がらない構造だから、それを見て、すぐれた人がビジネスに入らないのか?
- 後者の一つの仮説：中小企業＝下請け企業
- しかも一つの大企業にぶら下がっている
- →競争上、利益を皆、大企業にもっていかれる

- もう一つの仮説：経営者に莫大な利益を与えることを正義としない国民性
- →アメリカや中国と違い、創業者利益が小さい
- →創業者になり手が少ない
- →創業者の質が低い

- アントレプレナーシップは何で決まるのか、
- なぜ日本では低いのか。
  
- 最近の利益率の低下をアントレプレナーシップの欠如に求めるのなら、それはそんなに急に変わるものなのか
- →アントレプレナーシップの教育でどのようなことをされているか紹介していただけたら

# ファイナンスの知識の欠如

- ビジネススクールや経済学部教育が現実に役立つものと思われていないのでは？
- アメリカでは経済学・経営学は有用とされているが、日本で有用とされているのは法律学。
- これは単なる歴史的偶然か
- 経済学・経営学が想定する経済人は、日本人には当てはまらないのか？